

学級担任のまなざし 36

Okayama Prefectural Education Center

R2.7.29(Wed)

「強さとやさしさ」

高学年の野外活動の引率をしたときの出来事です。グループでの野外炊事となり、担任からの説明も終わり、いよいよ活動開始となりました。

あるグループは、一番に活動を始めました。食器を洗う子、野菜を切る子、かまどの火をおこす子、米を研ぐ子、それぞれが自分の仕事を次々と進めています。時には担任の説明通りには進まなかったり、ちょっとしたトラブルもありましたが、それぞれが自分の判断で活動していました。

他の多くのグループは、キョロキョロと隣のグループの様子を見ながら活動を進めていきます。隣のグループの活動を見て、自分が思っているやりかたと合っているかを確認し、自分の考えと同じだと安心して活動を続けます。

どちらのグループにも良さがありますが、「自分で考え、判断し、決断して行動する」には、勇気が必要だと感じました。

調理は進み、出来上がった時間はグループにより様々でした。早く終わったグループの子どもたちも、他のグループができあがるのを待っていました。本当は早く食べたかったのですが、「早くして!」などの言葉が出ることなく、ごく自然に待っていました。担任は「この学級の子どもたちは、心のやさしさはとても育っていると思います。でも、心の強さはまだまだ育てていかなければと思っています。」と話しました。

「一人でスタートを切る『強さ』と、最後の一人を迎え入れる『やさしさ』を持つ」

その学級の教室に掲示されていた言葉です。野外活動の様子から、普段の子どもたちの学校生活を垣間見た気がしました。